

## 2011 年度 活動成果報告

(2012 年 5 月 10 日作成)

プロジェクト名	郊外型都市賦活更新プロジェクト研究	リーダー：吉川 徹
プロジェクト全体計画	<p>本年度は、(1)多摩ニュータウンなど計画市街地における少子化、高齢化を踏まえた持続居住、地域公共空間再構成に向けた研究、(2)立川など既成中心市街地の地域資源に着目した地域活性化研究、(3)荒川区など既成高密度住宅市街地の在宅高齢者の外出行動支援に向けた調査研究、を推進した。</p>	
メンバー構成	<p>○吉川 徹 [教授/都市計画学]                  上野 淳 [教授/建築計画学]                  若林 芳樹 [教授/都市地理学]                  繁田 雅弘 [教授/老年医学]                  山田 孝 [教授/作業療法学]                  饗庭 伸 [准教授/都市計画]                  橋本 美芽 [准教授/建築・医療・福祉工学]                  山本 薫子 [准教授/都市社会学]                  門脇 耕三 [助教/建築構法、構法計画]                  坪本 裕之 [助教/都市地理学]                  松本 真澄 [助教/住居学]                  石橋 裕 [助教/作業療法学]                  讃岐 亮 [特任助教/都市計画学]                  酒井 博基 [非常勤講師]                  古澤 大輔 [非常勤講師]                  糸山 真人 [非常勤講師]</p>	
2011 年度の成果	<p><b>(1) 計画市街地における持続居住、地域公共空間再構成に向けた研究</b>                  上野・松本 G：分譲集合住宅の居住実態・環境評価、多摩 N T の団地居住高齢者の外出行動・生活様態、自立高齢者の支援ネットワーク、子どもの育つ環境としての多摩 N T、など多角的な観点から多摩ニュータウン再生・活性化シリーズ研究を推進した。                  吉川 G：地域公共空間再構成に向けて、住宅の機能を代替する地域施設の立地について分析を精緻化し、また多摩 N T 諏訪・永山地区において過去の小中学校の実際の設置統廃合経緯と最適配置の時系列的比較を行った。</p> <p><b>(2) 既成中心市街地の地域資源に着目した地域活性化研究</b>                  饗庭 G：都市環境科学研究科「都市環境科学特別講義第 2」「都市環境科学特別講義第 3」で立川市「シネマ通り商店街」の土地利用実態調査、街路景観に関する調査を 2011 年 7 月に実施し、その結果と地域活性化に関する提案を冊子「郊外都市横断スタディーズ 2」としてまとめた。</p> <p><b>(3) 既成高密度住宅市街地の在宅高齢者の外出行動支援に向けた調査研究</b>                  橋本 G：荒川区と協力して高齢者を対象とした、外出行動とその特性、外出頻度維持者と外出頻度低下者の特性比較に関する大規模アンケート調査を行った。その結果から、高齢者の外出ニーズ、都市整備への要望を抽出し、今後の都市整備の基礎資料としてまとめ、荒川区重点整備地区基本構想協議会に報告した。</p>	

研究成果リスト

<p>論文・口頭発表</p>	<p>[学術論文]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 多摩ニュータウン諏訪・永山地区における高齢者のための居場所形成とその利用・認知に関する分析：國上佳代・余錦芳・松本真澄・上野淳：日本建築学会計画系論文集：No.663,2011.05.：pp973-981</li> <li>2) 多摩ニュータウンの再生・活性化への模索 ～諏訪・永山地区における高齢者のための居場所形成～：上野淳，松本真澄：住宅，日本住宅協会：2011.11，pp.66-73</li> <li>3) 多摩ニュータウン高齢者支援スペース・福祉亭の活動と利用の実態について－多摩ニュータウンの高齢者支援スペースと利用者の地域生活様態に関する研究（その1）－，余錦芳，松本真澄，上野淳：日本建築学会計画系論文集： NO.671：2012.1， pp.9-18</li> <li>4) 生活者とスタッフの人間集合からみた小規模多機能高齢者支援施設の環境の読み解きに関する試論 ー人間集合の形からみた高齢者支援施設の環境の在り方に関する研究（その1）ー：菱田佳奈，松本真澄，上野淳：日本建築学会計画系論文集： NO.672：2012.2： pp.291-300</li> <li>5) 住宅の機能を代替する施設の立地と住宅分布の時空間構造分析：鈴木達也・讃岐亮・吉川徹：日本都市計画学会都市計画報告集：No.10,2011.08.：pp103-108</li> <li>6) ガソリンスタンドのアクセシビリティ評価と施設撤退の影響評価：讃岐亮，吉川徹：日本建築学会計画系論文集：NO.673：2012.1， pp.639-648</li> <li>7) 都市部在住高齢者の外出特性と外出を支援する都市環境に関する考察：橋本美芽，石橋裕，長野博一：日本保健科学学会誌，14（Suppl.），第21回日本保健科学学会学術集会：2011，p.17（O-05）</li> </ol> <p>[口頭発表]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「食」を通じた高齢者の生活様態に関する考察 杉並区阿佐ヶ谷地区と多摩ニュータウン諏訪地区におけるケーススタディ：高松玲，余錦芳，松本真澄，上野淳：日本建築学会大会学術講演梗概集：2011.8，F-1分冊，p.1489</li> <li>2) テナント交替に着目した首都圏郊外の都市変容に関する研究 佐倉市を対象として：吉田勇斗，吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集：2011.8，F-1分冊，p.143</li> <li>3) 住民評価から見た集合住宅地における住戸外の空間特性に関する研究 八潮パークタウンを対象地として：金子弘幸，讃岐亮，吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集：2011.8，F-1分冊，p.467</li> <li>4) 住宅の機能を代替する施設に着目した都市の時空間構造の分析：鈴木達也，吉川徹，讃岐亮：日本建築学会大会学術講演梗概集：2011.8，F-1分冊，p.601</li> <li>5) 都市部に居住する閉じこもり高齢者の特性とまちづくりに関する考察：橋本美芽，石橋裕，長野博一：第14回福祉のまちづくり学会全国大会 in 堺，日本福祉のまちづくり学会：2011，p.22</li> <li>6) The characteristics of the competence and value regarding daily occupation among the housebound elderly - The survey of Arakawa-city Tokyo metropolitan-. Y. Ishibashi, T. Yamada, <u>M. Hashimoto</u>, H. Nagano, N. Kobayashi :Ninth Asia / Oceania Regional Congress of Gerontology and Geriatrics. 2011, Melbourne, Australia, 2011.</li> <li>7) 27 The influence of housebound upon the occupational adaptation among elderly; using the OSA : Y. Ishibashi, T. Yamada, <u>M. Hashimoto</u>, H. Nagano, N. Kobayashi: 5th Asian Pacific Occupational Therapy Conference (Chiang Mai). 2011.</li> </ol>
<p>刊行物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郊外都市の空間に関する調査2：饗庭伸，山本薫子，ほか：首都大学東京郊外型都市賦活更新プロジェクト研究 郊外都市横断スタディーズ2：2012</li> <li>・ 持続居住を支えるための地域公共空間の改修設計：首都大学東京大学院都市環境科学研究科建築学域 2011年度プロジェクト演習I：2011</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>講習会等</b> (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 首都大学東京大都市リーディングプロジェクト発表会@東京都庁：上野淳，山本康友，青木茂，吉川徹：2011.9.20</li> <li>2. 首都大学東京リーディングプロジェクト LP3 研究発表会@首都大学東京南大沢キャンパス：2012.2.14</li> <li>3. 首都大学東京オープンユニバーシティー：環境負荷低減に資する都市建築ストック活用型社会の構築技術：上野淳</li> <li>4. 近隣大学の学生による地域研究発表会：第2部 多摩ニュータウン住宅団地の居住実態と再生に向けて：鈴木摩耶：開発年代別にみた多摩ニュータウン分譲集合住宅の居住実態と環境評価に関する研究，小池篤史：多摩ニュータウン諏訪永山地区におけるバリアマップの作成とその考察，第3部 多摩ニュータウンにおけるコミュニティ・ビジネスを考える：須賀典子：多摩ニュータウン永山商店街におけるコミュニティ・カフェの利用実態</li> <li>5. 日本建築学会パネルディスカッション「スマートシュリンクと空間管理」：饗庭伸：都市のたたみかたと都市縮小時代の空間像</li> <li>6. 首都大学東京オープンユニバーシティー：特別区協議会・首都大学東京連携講座「介護保険制度と住まいづくり～介護予防と住宅改修の考え方～：橋本美芽</li> <li>7. 荒川区重点整備地区基本構想策定協議会・住民部会：荒川区高齢者の外出行動の特徴とまちづくりの要望：橋本美芽</li> </ol>
<p style="text-align: center;"><b>その他</b></p>	<p>上野淳：多摩市総合計画審議会副会長：2010.04～2011.05.  上野淳：東京都都市整備局：多摩ニュータウン大規模住宅団地問題検討委員会：委員長：2011.06～2012.03  吉川徹：多摩ニュータウン学会会長：2011.06～  橋本美芽：東京都荒川区重点整備地区基本構想策定協議会：副会長 2010.04～</p>

[卒業論文・修士論文2011]

**卒業論文**

- ・多摩ニュータウン諏訪・永山地区における高齢者の屋外活動に関する調査・分析：久家あかね
- ・水平方向の徒歩移動抵抗に立脚した中心市街地の施設立地特性～施設訪問行動の目的性に着目して～：繁野北斗
- ・年齢階層別の施設利用頻度に着目した施設・住居最適配置の時系列変化：野口雄史
- ・郊外市街地のスーパーマーケット撤退による移動距離・手段に関する影響評価～東京都青梅市を対象として～：奥田周平

**修士論文**

- ・多摩ニュータウン自立高齢者の外出行動特性に関する研究：岩崎杏瑞
- ・開発年代別にみた多摩ニュータウン分譲集合住宅の居住実態と環境評価に関する研究：鈴木麻耶
- ・利用者構造の変遷に着目した公共施設の出現と統廃合の分析～多摩ニュータウンの小中学校を例として～：上原洋八
- ・地域コミュニティの拠点の変遷 -記録を残さなかったまちの繋がり-の歴史-：国重安沙
- ・社会的ネットワークによる建築ストックのシェア型活用についての研究：山崎健太郎